



# 2020年3月期 第2四半期決算説明資料

(2019年4月～2019年9月)

2019年11月8日



証券コード:1905

会社概要	3～4ページ
2020年3月期 第2四半期決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[地盤改良・杭工事]の状況(単体)	10ページ
2020年3月期の業績予想(連結)	11ページ
連結売上高予想	12ページ
2020年3月期の投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2015/3期から2020/3期)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(2015/3期から2020/3期)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

## 経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、  
建築・土木構造物をお使いになれる全ての人々に、  
安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、  
お客様のご要望にお応えしてまいります所存であります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 雅之
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	(単体) 191名 (連結) 283名 ※2019年9月30日現在
拠点	(営業所) 北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 (出張所) 北東北、郡山、北陸の3ヶ所 (機材センター) 東京機材センター
グループ会社	(連結子会社：国内) (株)テノックス技研、(株)複合技術研究所 (連結子会社：海外) TENOX ASIA COMPANY LIMITED (ベトナム)

グループ会社名	事業内容
(株)テノックス (当社)	<p>基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売 (主な工法)</p> <p>杭工法 : TN-X工法、ガンテツパイル工法、TN工法 NSエコパイル工法、ATTコラム工法</p> <p>地盤改良工法 : テノコラム工法、ピュアパイル工法</p>
(株)テノックス技研	(株)テノックスの基礎工事の施工及び機材の賃貸
(株)複合技術研究所	土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋
TENOX ASIA COMPANY LIMITED	ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

# 2020年3月期 第2四半期決算の概要(連結)



- **売上高**:大型民間工場や商業施設の地盤改良工事が減少し、東日本大震災復興関連の杭工事が終息したことなどにより減収
- **利益** :施工不具合の復旧に伴う費用がなくなり、また施工管理の向上に努めたことにより増益

■売上高	88億93百万円	前年同期比 $\Delta 26$ 億75百万円 ( $\Delta 23.1\%$ ) ✓主に民間工場の地盤改良工事や東日本大震災復興関連の杭工事が減少
■営業利益	5億97百万円	前年同期比 +96百万円 (+19.4%) ✓主に施工不具合の復旧に伴う費用が減少
■経常利益	6億20百万円	前年同期比 +96百万円 (+18.5%) ✓主に営業利益の増益による
■親会社株主に帰属する 四半期純利益	4億55百万円	前年同期比 +1億4百万円 (+29.6%) ✓主に経常利益の増益による
■受注高	82億68百万円	前年同期比 $\Delta 42$ 億62百万円 ( $\Delta 34.0\%$ )
■受注残高	51億51百万円	前期末比 $\Delta 4$ 億97百万円 ( $\Delta 8.8\%$ ) ✓当四半期末の主な残高は、道路関連工事や学校など

# 連結損益計算書の概要



(単位:百万円、%)

	2018/9	売上高	2019/9	売上高	前年同期比	
	(上期)	比率	(上期)	比率		
売上高	11,569	—	8,893	—	△2,675	△23.1%
売上原価	10,203	88.2%	7,376	82.9%	△2,827	△27.7%
売上総利益	1,365	11.8%	1,517	17.1%	+151	+11.1%
販売費及び 一般管理費	864	7.5%	919	10.3%	+54	+6.3%
営業利益	500	4.3%	597	6.7%	+96	+19.4%
経常利益	523	4.5%	620	7.0%	+96	+18.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	351	3.0%	455	5.1%	+104	+29.6%

# 連結貸借対照表の概要



- 流動資産:主に仕入債務の減少や売上債権の回収などにより現金預金が増加
- 流動負債:主に消費税の未払金や未払法人税等の増加

(単位:百万円、%)

	2019/3末	2019/9末	前期末比	
流動資産	14,026	14,670	+643	+4.6%
固定資産	2,739	2,763	+24	+0.9%
資産合計	16,766	17,433	+667	+4.0%
流動負債	4,600	4,918	+317	+6.9%
固定負債	528	553	+24	+4.6%
負債合計	5,129	5,471	+341	+6.7%
純資産合計	11,636	11,962	+325	+2.8%
(自己資本比率)	(67.5%)	(66.9%)	(△0.6ポイント)	—

# 連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

	2018/9 (上期)	2019/9 (上期)	当四半期の主な要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	△211	+1,498	税金等調整前四半期純利益	+6億57百万円
			減価償却費	+2億74百万円
			売上債権の減少	+1億81百万円
			仕入債務の減少	△1億55百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△527	△243	有形固定資産の売却による収入	+36百万円
			有形固定資産の取得による支出	△2億62百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△218	△105	配当金の支払額	△1億3百万円
現金及び現金同等物 の増減額	△957	+1,148		
連結の範囲の変更に 伴う現金及び現金 同等物の増減額	—	+161		
現金及び現金同等物 の四半期末残高	7,642	8,736		

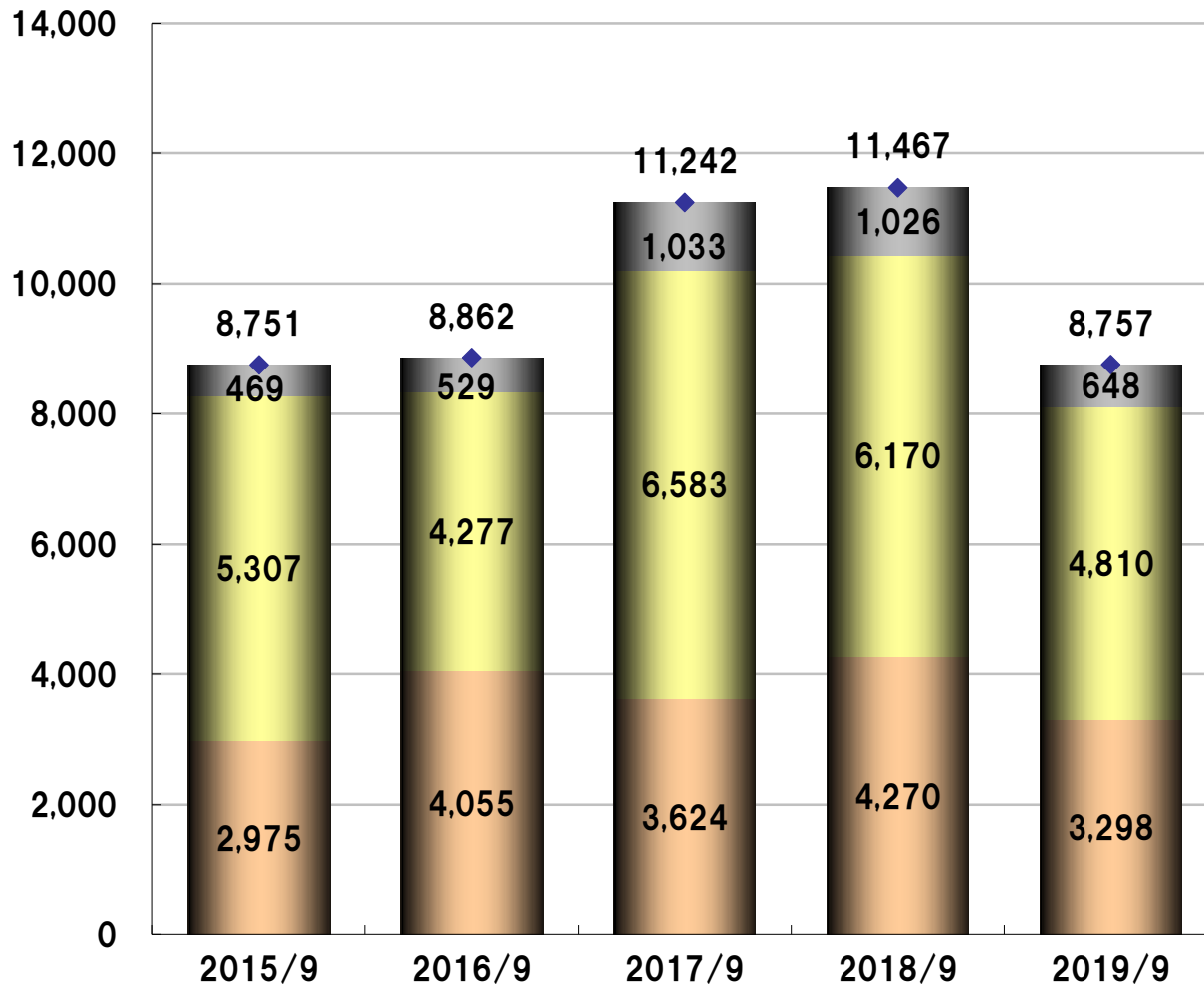


# 売上高の推移(単体)



(単位:百万円)

■地盤改良工事 ■杭工事 ■その他 ◆計

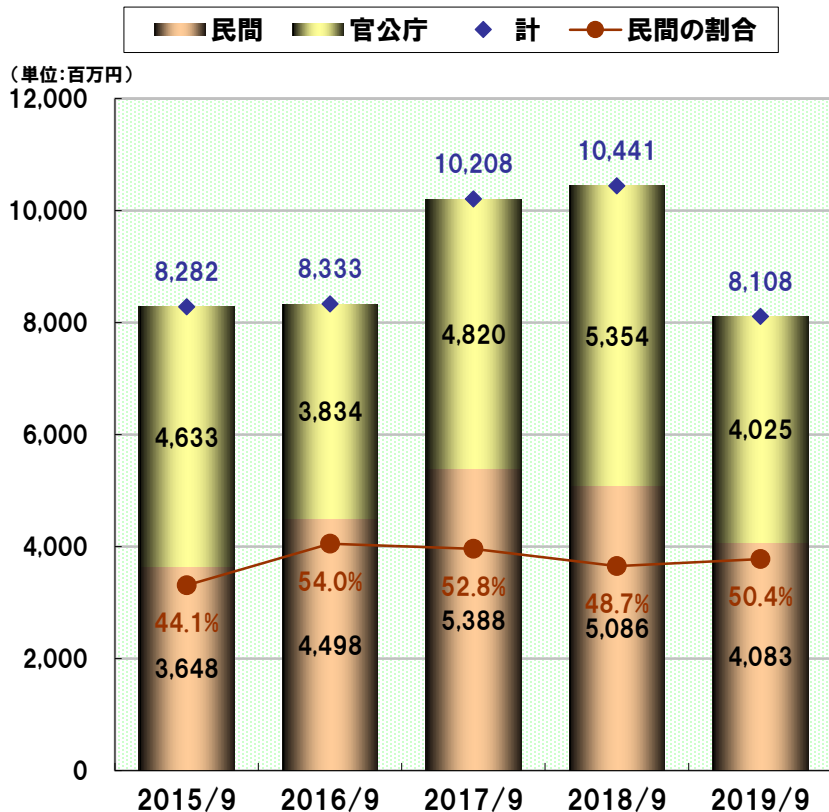


- 杭工事:  
主に、道路関連工事が増加したものの、東日本大震災復興関連工事が減少
- 地盤改良工事:  
主に、大型の民間工場関連工事が減少

# 売上高[地盤改良・杭工事]の状況(単体)

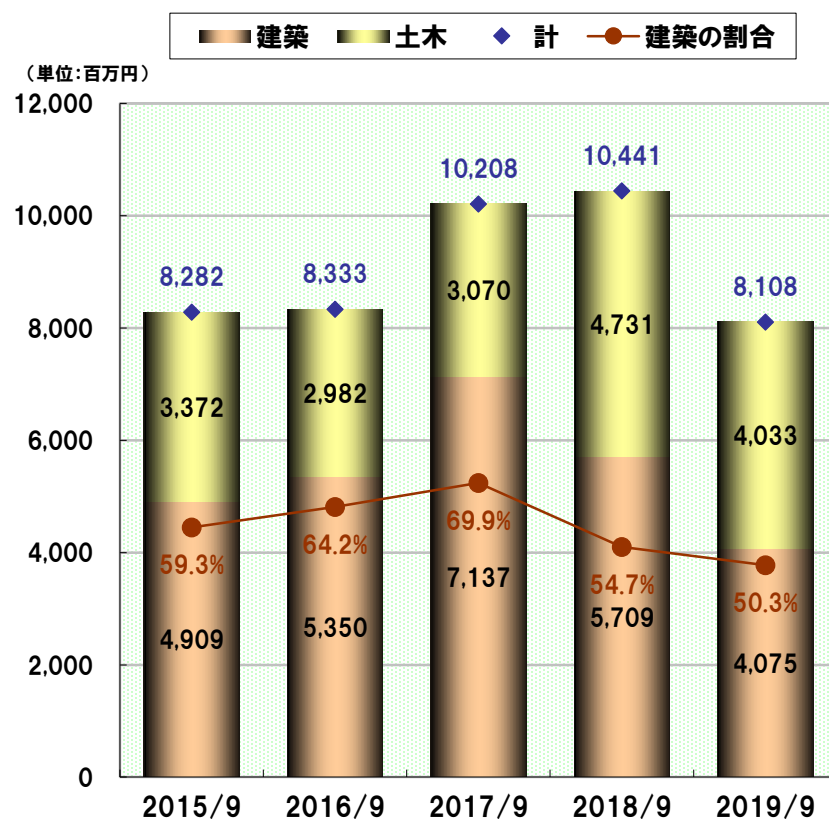


## 民間vs官公庁の推移(単体)



- 民間は、大型の工場が減少
- 官公庁は、鉄道高架橋や震災復興関連工事が減少

## 建築vs土木の推移(単体)



- 建築は、大型の工場が減少
- 土木は、震災復興関連工事などが減少

# 2020年3月期の業績予想(連結)



- 売上高: 鉄道高架橋などの杭工事が減少するものの、高速道路関連の杭工事が増加
- 利益 : 売上高は微増ながらも、施工管理の徹底等により売上総利益が増加

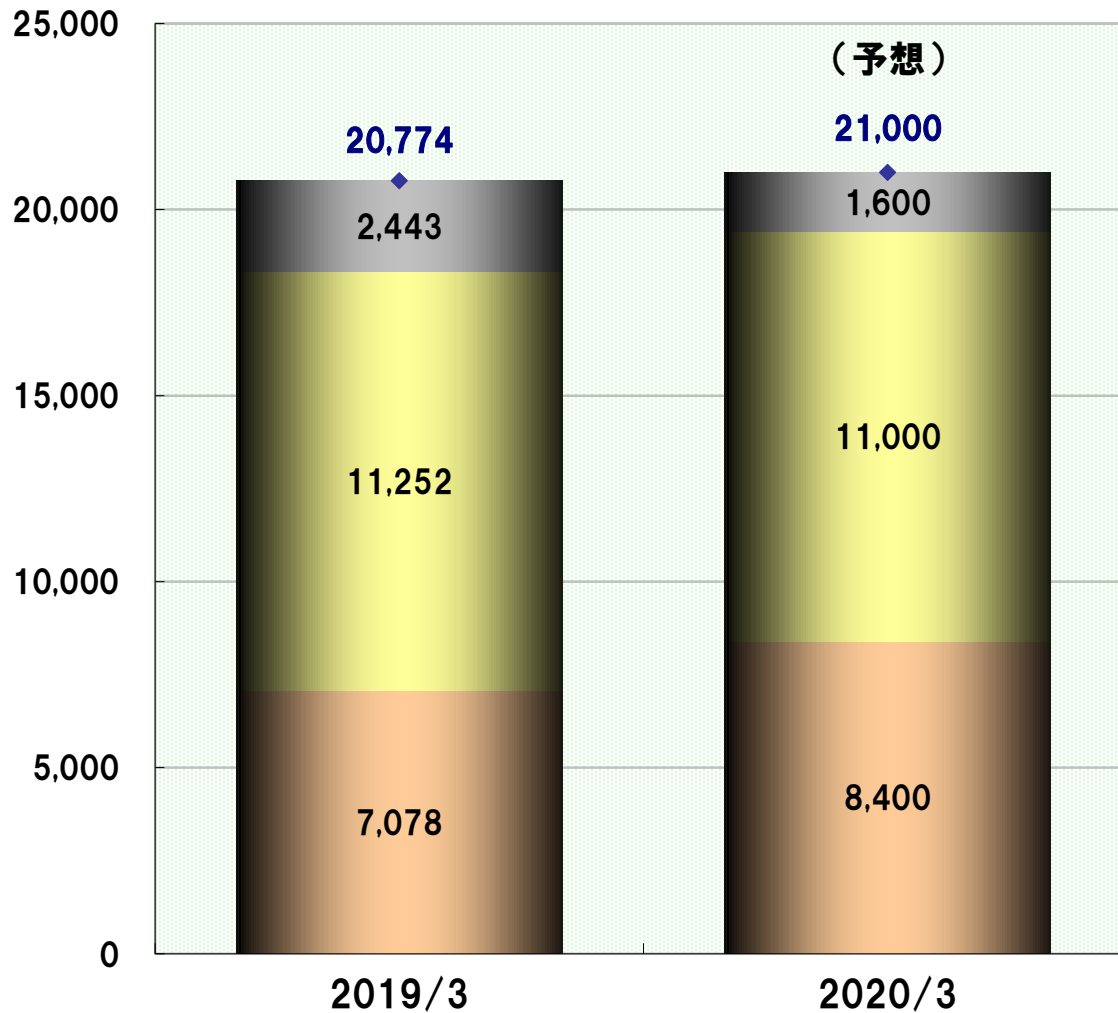
■売上高	《予想》 210億円	2019/3期比	+2億25百万円 (+1.1%)
■営業利益	《予想》 11.5億円	2019/3期比	+1億96百万円 (+20.6%)
■経常利益	《予想》 12億円	2019/3期比	+1億89百万円 (+18.8%)
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 8億円	2019/3期比	+1億59百万円 (+25.0%)

# 連結売上高予想



■地盤改良工事 ■杭工事 ■その他 ◆計

(単位:百万円)



- 杭工事:  
鉄道高架橋などが減少するものの、高速道路関連の工事が増加
- 地盤改良工事:  
主に民間工場関連などが増加

# 2020年3月期の投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

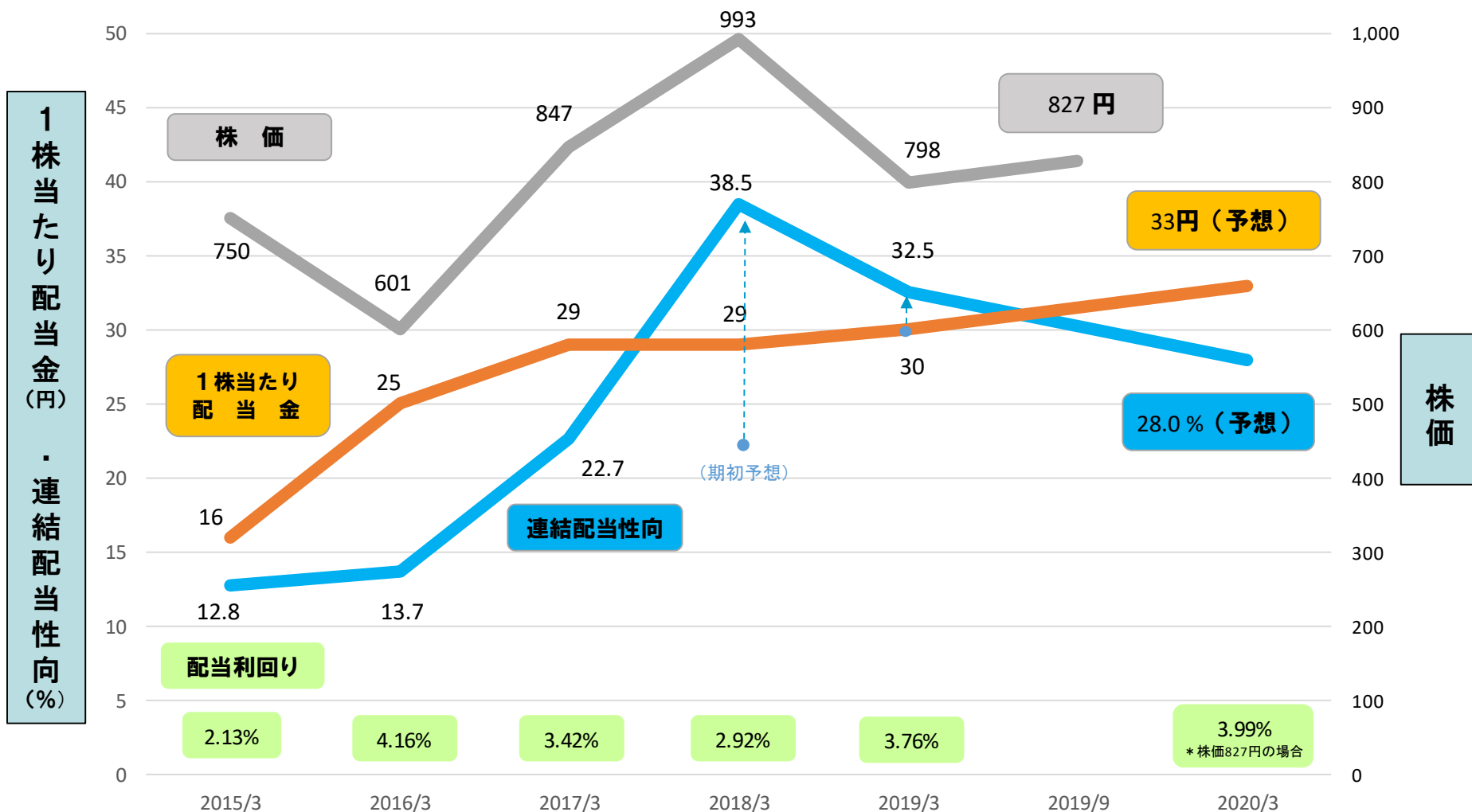
■設備投資額	《予想》 8億円	2019/3期比 +1億77百万円(+28.5%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5.8億円	2019/3期比 +96百万円(+20.0%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 1.6億円	2019/3期比 +77百万円(+94.3%) ✓ 主に施工管理装置の高度化、保有工法の付加価値向上
■従業員数	《予想》 205名	2019/3期比 +17名

# (ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2015/3期から2020/3期)



(単位:%、円)

(単位:円)

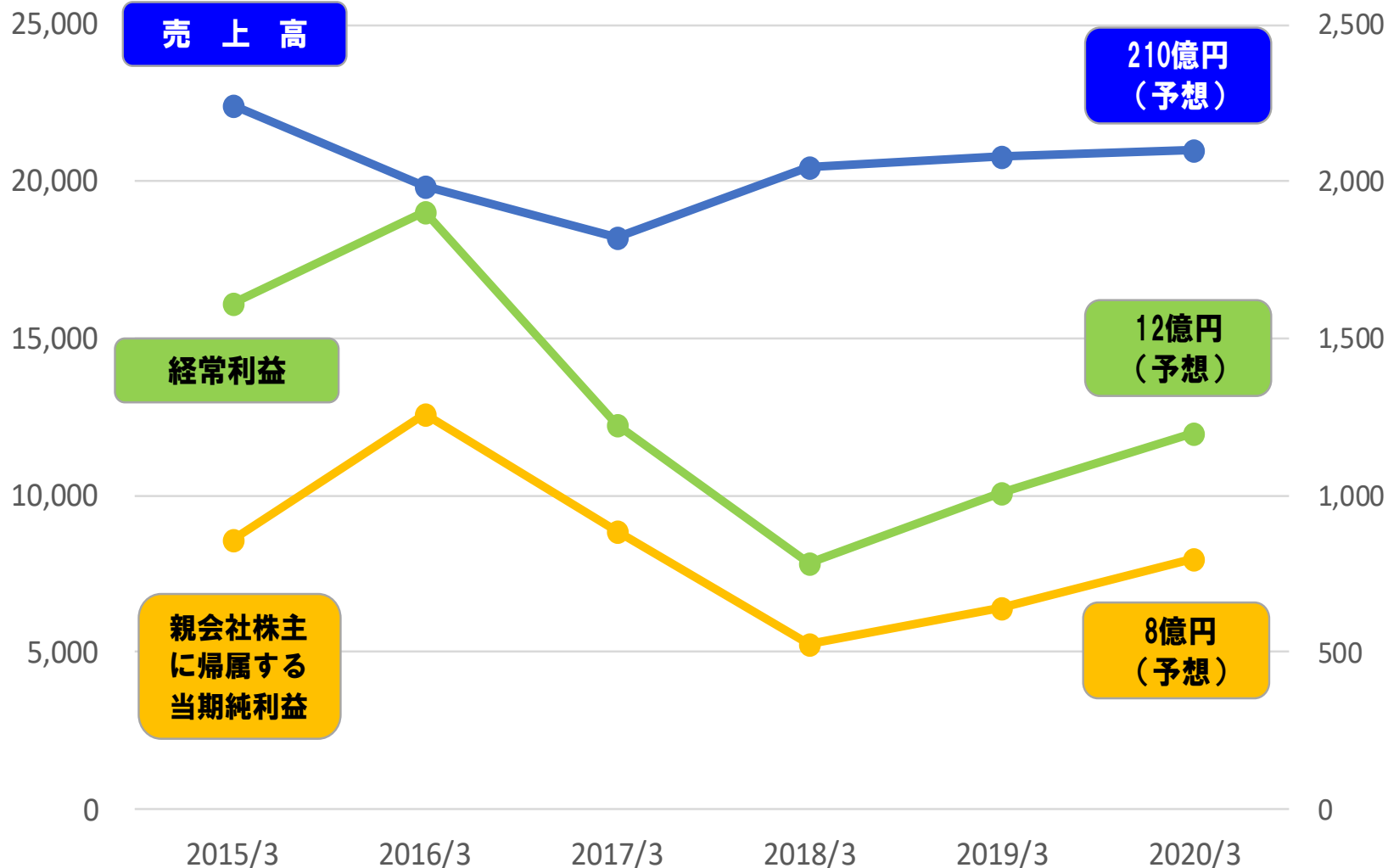


# (ご参考)連結業績推移 (2015/3期から2020/3期)



(単位:百万円)

(単位:百万円)



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高

売上高

経常利益

親会社株主に帰属する  
当期純利益

210億円  
(予想)

12億円  
(予想)

8億円  
(予想)

# (ご参考)連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3 (予想)
売上高	16,448	17,628	19,829	21,601	22,427	19,830	18,226	20,441	20,774	21,000
売上原価	15,155	16,042	17,338	18,305	18,834	16,296	15,432	17,877	18,121	
売上総利益	1,293	1,585	2,491	3,295	3,593	3,533	2,794	2,564	2,653	
販売費及び 一般管理費	2,092	1,877	1,946	1,981	2,051	1,570	1,732	1,815	1,700	
営業利益	△799	△291	544	1,314	1,541	1,962	1,062	749	953	1,150
経常利益	△786	△299	644	1,394	1,610	1,905	1,224	785	1,010	1,200
(売上高 経常利益率:%)	(△4.8)	(△1.7)	(3.2)	(6.5)	(7.2)	(9.6)	(6.7)	(3.8)	(4.9)	(5.7)
税金等調整前 当期純利益	△886	△310	639	1,420	1,633	1,900	1,214	748	1,015	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△735	△327	498	521	861	1,257	886	523	640	800
(売上高 当期純利益率:%)	(△4.5)	(△1.9)	(2.5)	(2.4)	(3.8)	(6.3)	(4.9)	(2.6)	(3.1)	(3.8)
	2011/3 期末	2012/3 期末	2013/3 期末	2014/3 期末	2015/3 期末	2016/3 期末	2017/3 期末	2018/3 期末	2019/3 期末	2020/3 期末(予想)
純資産	7,751	7,329	7,825	8,822	9,814	10,338	11,021	11,393	11,636	12,200
総資産	14,542	14,669	14,949	16,436	16,910	16,481	16,780	17,992	16,766	17,330

2018/3期末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。



環境と共存し、確かな技術力で  
社会と暮らしを支える



ホームページ: <https://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画情報推進部 予算・IRグループ

<https://www.tenox.co.jp/contact/ir.html>

電話: 03-3455-7787